



## 2018年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2017年10月30日

上場会社名 カルビー株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2229 URL http://www.calbee.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼COO (氏名) 伊藤 秀二  
 問合せ先責任者 (役職名) 上級常務執行役員 (氏名) 菊地 耕一 (TEL) 03-5220-6222  
 四半期報告書提出予定日 2017年11月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2018年3月期第2四半期の連結業績(2017年4月1日~2017年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年3月期第2四半期	118,822	△3.9	10,338	△24.8	10,557	△17.4	7,045	△11.8
2017年3月期第2四半期	123,654	2.2	13,753	7.4	12,777	3.6	7,984	4.3

(注) 包括利益 2018年3月期第2四半期 7,282百万円( 14.4%) 2017年3月期第2四半期 6,365百万円(△15.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2018年3月期第2四半期	52.72	52.66
2017年3月期第2四半期	59.76	59.69

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2018年3月期第2四半期	185,424	136,688	69.7
2017年3月期	182,011	135,056	70.4

(参考) 自己資本 2018年3月期第2四半期 129,262百万円 2017年3月期 128,121百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2017年3月期	—	0.00	—	42.00	42.00
2018年3月期	—	0.00			
2018年3月期(予想)			—	42.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

## 3. 2018年3月期の連結業績予想(2017年4月1日~2018年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	256,000	1.4	27,500	△4.7	27,500	△3.9	17,500	△5.9	131.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 ー 社 (社名) ー 、 除外 ー 社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2018年3月期2Q	133,863,800株	2017年3月期	133,821,800株
② 期末自己株式数	2018年3月期2Q	292,997株	2017年3月期	166,997株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2018年3月期2Q	133,630,816株	2017年3月期2Q	133,598,760株

(注) 期末自己株式数には、信託が保有する自社の株式を含めております (2018年3月期第2四半期292,165株、2017年3月期166,165株)。また、同信託が保有する自社の株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式を含めております (2018年3月期第2四半期196,338株、2017年3月期第2四半期183,482株)。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 1 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は経済情勢等様々な不確定要因により、これらの予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項は、添付資料5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- 2 2018年3月期の1株当たり当期純利益は、予定期中平均株式数133,570,803株により算定しております。
- 3 当社は、2017年10月30日(月)に機関投資家・アナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会の動画については、開催後当社ホームページに掲載する予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、円安基調が継続する中、輸出の持ち直しや設備投資意欲の高まりなど企業活動の状況に改善が見られました。また、雇用者所得の緩やかな回復とともに国内の消費者マインドの持ち直しが見られたほか、インバウンド需要による消費関連の業種の改善が見られました。

このような状況の下、当社グループの国内事業では、第2四半期には馬鈴しょ収穫が本格化し、ポテトチップスの売上は回復したものの、第1四半期において昨年夏の台風被害に起因した馬鈴しょ不足からポテトチップス等の販売アイテムの調整を行ったことが、業績に大きく影響しました。また、「フルグラ」の海外消費分の変動、ならびにコーンフレークの終売が売上減少に影響しました。

海外事業では、主力地域である北米および韓国の売上不振の中、中国向けに「フルグラ」の販売を開始したことや、前期に新規参入した地域の売上が好調に推移したことにより、円貨ベース、現地通貨ベースいずれも増収となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は118,822百万円（前年同期比3.9%減）となりました。営業利益は、国内のポテト系スナックおよびシリアル食品や北米の売上減少の影響に加え、国内外の稼働低下による原価悪化により10,338百万円（前年同期比24.8%減）となり、営業利益率が8.7%（前年同期比2.4ポイント悪化）になりました。経常利益は、為替差益193百万円等により10,557百万円（前年同期比17.4%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、7,045百万円（前年同期比11.8%減）となりました。

	2017年3月期 第2四半期		2018年3月期 第2四半期		伸び率 (%)	現地通貨 ベースの 伸び率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)		
国内売上高	109,804	88.8	102,742	86.5	△ 6.4	△ 6.4
海外売上高	13,850	11.2	16,080	13.5	+16.1	+11.2
合計	123,654	100.0	118,822	100.0	△ 3.9	△ 4.5

事業別の売上高は以下のとおりです。

売上高	2017年3月期 第2四半期	2018年3月期 第2四半期	
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	伸び率 (%)
① 食品製造販売事業	122,096	117,045	△ 4.1
国内食品製造販売事業	108,246	100,965	△ 6.7
国内スナック菓子	83,137	81,042	△ 2.5
国内シリアル食品	17,299	12,816	△25.9
国内その他食品	7,809	7,106	△ 9.0
海外食品製造販売事業	13,850	16,080	+16.1
海外スナック菓子	13,850	15,555	+12.3
海外シリアル食品	—	524	—
② その他事業	1,557	1,776	+14.0
合計	123,654	118,822	△ 3.9

## ① 食品製造販売事業

(国内食品製造販売事業)

## ・国内スナック菓子

国内スナック菓子の売上高は、小麦系スナック、新規スナックを含むその他スナックの売上が増加したものの、主にポテト系スナックの売上が減少したため、前年同期と比べ減収となりました。

国内スナック菓子の製品別売上は以下のとおりです。

売上高	2017年3月期 第2四半期	2018年3月期 第2四半期	
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	伸び率 (%)
ポテト系スナック	60,143	56,034	△ 6.8
ポテトチップス	35,682	31,445	△11.9
じゃがりこ	17,823	17,220	△ 3.4
Jagabee/じゃがポックル	6,637	7,367	+11.0
小麦系スナック	10,932	11,295	+ 3.3
かっぱえびせん	5,294	5,267	△ 0.5
サッポロポテト等	5,637	6,028	+ 6.9
コーン系・豆系スナック	8,887	8,751	△ 1.5
その他スナック	3,174	4,960	+56.3
国内スナック菓子 計	83,137	81,042	△ 2.5

- ・ポテト系スナックの売上高は、馬鈴しょ収穫が本格化した第2四半期には前年同期比で増収になったものの、第1四半期において昨年の馬鈴しょ調達不足から販売アイテムの調整を行った影響が大きく、前年同期と比べ減収となりました。
- ・小麦系スナックの売上高は、ポテトチップス等の休売に代わり「サッポロポテト」等の積極的な販売に努め、前年同期と比べ増収となりました。
- ・コーン系・豆系スナックの売上高は、ポップコーン等のコーン系スナックの販売不調により、前年同期と比べ減収となりました。
- ・その他スナックの売上高は、前年第2四半期から販売開始した「ポテトチップスクリスプ」の販売地域の拡大を進めたことにより、前年同期と比べ増収となりました。

・国内シリアル食品

国内シリアル食品の売上高は、「フルグラ」糖質25%オフやチョコクランチ&バナナ等のラインナップ拡充を進めたものの、海外消費分の変動が減少に大きく影響したほか、当期からコーンフレークの販売を終了したことにより、前年同期と比べ減収となりました。

・国内その他食品

国内その他食品には、ベーカリー事業、青果用馬鈴しょ等の販売等が含まれています。

国内その他食品の売上高は、ベーカリー事業におけるドーナツの売上減少等により、前年同期と比べ減収となりました。

(海外食品製造販売事業)

・海外スナック菓子

海外スナック菓子の売上高は、前年同期と比べ増収となりました。前期に新規参入したインドネシア等での売上は順調に拡大しました。一方、主力地域である北米では豆系スナック「Harvest Snaps」の大手顧客への販売が振るわず減収となったほか、韓国ではポテトチップスの新フレーバーを継続的に投入したものの、主力製品の売上減少分をカバーするに至らず減収となりました。

・海外シリアル食品

海外シリアル食品は、第2四半期から中国向けに「フルグラ」の販売を開始し、当期から売上を計上しています。

海外食品製造販売事業の地域別売上高は以下のとおりです。

売上高	2017年3月期 第2四半期	2018年3月期 第2四半期		
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	伸び率 (%)	
北米	5,568	5,002	△10.2	
ア	中華圏	2,610	3,451	+32.2
ジ	韓国	2,876	2,708	△5.9
ア	その他アジア・豪州	2,332	4,215	+80.7
欧州	461	702	+52.3	
海外食品製造販売事業 計	13,850	16,080	+16.1	

\*1 中華圏には、中国、台湾、香港における海外スナック菓子と海外シリアル食品の売上を含みます。

\*2 その他アジア・豪州には、タイ、フィリピン、シンガポール、インドネシア、オーストラリアにおける売上を含みます。

## ② その他事業

その他事業には主に物流事業、販売促進ツール関連事業が含まれています。

その他事業の売上高は、販売促進ツールの売上が増加したこと等により、前年同期と比べ増収となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末と比べ3,413百万円増加し、185,424百万円となりました。この主な要因は、末日が金融機関休業日であったことから入金が翌月にずれ込み、受取手形及び売掛金が増加したことによるものです。

負債は、短期借入金の増加等により、前連結会計年度末と比べ1,781百万円増加し、48,736百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末と比べ1,632百万円増加し、136,688百万円となりました。

この結果、自己資本比率は69.7%となり、前連結会計年度末と比べ0.7ポイント低下しました。

### ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べ20,551百万円減少し、24,075百万円となりました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の増加および税金等調整前四半期純利益の減少等により、前年同期と比べ16,207百万円収入が減少し、4,996百万円の純支出となりました。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、主として有価証券の取得による支出が増加したことにより、前年同期と比べ8,118百万円支出が増加し、16,073百万円の純支出となりました。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純増減額が増加したことにより、前年同期と比べ4,692百万円収入が増加し、371百万円の純収入となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年3月期の連結業績予想につきましては、当第2四半期累計期間の業績および最近の業績の動向を踏まえ、下記の通り修正いたしました。

売上高は、海外の主力地域である北米事業の業績回復が遅れたことにより、前回発表を下回る見込みです。営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益についても、北米事業の売上減少による利益減少および稼働低下による生産性の悪化等により、前回発表を下回る見込みです。なお、今回発表予想の前提とした主な為替レートは、1ドル=112.73円です。

また、今回の業績予想修正に伴い、1株あたり期末配当金予想を46円から42円に修正いたしました。連結配当性向は前回予想と同率の32%を維持しております。配当予想修正の詳細につきましては、別紙「配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

	今回発表予想 (A)	前回発表予想 (B)	増減額 (A - B)	増減率 (%)
売上高	256,000	260,000	△4,000	△ 1.5
営業利益	27,500	30,000	△2,500	△ 8.3
経常利益	27,500	30,000	△2,500	△ 8.3
親会社株主に 帰属する当期純利益	17,500	19,000	△1,500	△ 7.9

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2017年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	23,961	18,880
受取手形及び売掛金	28,600	39,714
有価証券	28,999	22,998
たな卸資産	9,895	12,257
その他	6,462	5,483
貸倒引当金	△33	△7
流動資産合計	97,884	99,327
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	27,734	28,263
機械装置及び運搬具（純額）	28,144	28,532
土地	11,626	11,628
建設仮勘定	1,840	3,759
その他（純額）	1,489	1,499
有形固定資産合計	70,835	73,684
無形固定資産		
のれん	1,618	1,322
その他	2,864	2,637
無形固定資産合計	4,483	3,959
投資その他の資産		
投資その他の資産	8,878	8,522
貸倒引当金	△70	△69
投資その他の資産合計	8,808	8,453
固定資産合計	84,126	86,097
資産合計	182,011	185,424



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2017年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,668	11,427
短期借入金	1,107	7,186
未払法人税等	5,577	3,316
賞与引当金	4,247	3,504
役員賞与引当金	139	86
株式給付引当金	50	—
その他	16,288	13,561
流動負債合計	37,079	39,082
固定負債		
役員退職慰労引当金	507	452
役員株式給付引当金	111	90
退職給付に係る負債	7,669	7,542
資産除去債務	654	657
その他	933	910
固定負債合計	9,875	9,653
負債合計	46,954	48,736
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	12,020	12,030
資本剰余金	4,781	4,780
利益剰余金	111,936	113,361
自己株式	△539	△1,073
株主資本合計	128,198	129,100
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	604	663
為替換算調整勘定	492	527
退職給付に係る調整累計額	△1,173	△1,027
その他の包括利益累計額合計	△77	162
新株予約権	11	7
非支配株主持分	6,924	7,418
純資産合計	135,056	136,688
負債純資産合計	182,011	185,424

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2016年4月1日 至2016年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)
売上高	123,654	118,822
売上原価	69,076	69,298
売上総利益	54,577	49,523
販売費及び一般管理費	40,824	39,185
営業利益	13,753	10,338
営業外収益		
受取利息	44	40
受取配当金	19	23
為替差益	—	193
その他	210	150
営業外収益合計	274	407
営業外費用		
支払利息	9	36
為替差損	995	—
その他	245	152
営業外費用合計	1,250	188
経常利益	12,777	10,557
特別利益		
固定資産売却益	8	4
段階取得に係る差益	13	—
特別利益合計	21	4
特別損失		
固定資産売却損	3	0
固定資産除却損	216	80
特別損失合計	219	80
税金等調整前四半期純利益	12,580	10,481
法人税、住民税及び事業税	3,425	2,898
法人税等調整額	685	548
法人税等合計	4,110	3,447
四半期純利益	8,469	7,033
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	485	△11
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,984	7,045

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)
四半期純利益	8,469	7,033
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	165	58
為替換算調整勘定	△2,393	43
退職給付に係る調整額	123	146
その他の包括利益合計	△2,104	248
四半期包括利益	6,365	7,282
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,882	7,285
非支配株主に係る四半期包括利益	△517	△3

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2016年4月1日 至2016年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	12,580	10,481
減価償却費	3,451	3,939
のれん償却額	319	299
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2	△27
賞与引当金の増減額(△は減少)	△677	△747
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	10	△54
株式給付引当金の増減額(△は減少)	△5	△50
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	—	△20
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	125	40
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	25	19
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△33	△54
受取利息及び受取配当金	△63	△63
支払利息	9	36
為替差損益(△は益)	1,379	△239
固定資産売却損益(△は益)	△5	△4
固定資産除却損	216	80
売上債権の増減額(△は増加)	△3,769	△11,063
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,233	△2,339
仕入債務の増減額(△は減少)	1,357	1,743
未払金の増減額(△は減少)	823	△1,117
その他	2,325	△684
小計	15,836	175
利息及び配当金の受取額	66	63
利息の支払額	△1	△37
法人税等の支払額	△4,691	△5,197
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,210	△4,996

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△6,004	△6,543
有形固定資産の売却による収入	1	12
無形固定資産の取得による支出	△220	△196
有価証券の取得による支出	△5,999	△16,998
有価証券の償還による収入	4,000	8,000
投資有価証券の取得による支出	△8	△8
貸付けによる支出	—	△60
貸付金の回収による収入	32	120
定期預金の預入による支出	△394	△794
定期預金の払戻による収入	524	337
差入保証金の差入による支出	△44	△15
差入保証金の回収による収入	107	73
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	42	—
その他	7	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,955	△16,073
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	566	6,083
長期借入金の返済による支出	△22	—
自己株式の取得による支出	—	△533
ストックオプションの行使による収入	8	16
非支配株主からの払込みによる収入	—	502
配当金の支払額	△4,676	△5,616
非支配株主への配当金の支払額	△167	△16
リース債務の返済による支出	△30	△65
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,321	371
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,033	147
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,099	△20,551
現金及び現金同等物の期首残高	47,323	44,627
現金及び現金同等物の四半期末残高	45,224	24,075

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。